

Topic 一般質問

今後のPCR検査拡充に関する施策について

新型コロナウイルス感染症だけでなく、冬には季節性インフルエンザの流行も懸念されることから、PCR検査を拡充する施策を区は続々と打ち出しています。その中で、狹津にある杉並保健所でPCRパスの駐車場工事が行われ、近隣住民から不安の声が聞かれました。また隣接の世田谷区では世田谷モデルと称される施策を実施することとなり、大きな話題になっていました。

松本：PCR検査バスが納品されたのち、地域に対するバス見学会を開催し、不安の払拭に努めてはどうか。
保健所長：住民の方にPCR検査実施への理解を深めていただく良い機会となることから、実施に先立ち、検査実施予定地において開催していく*4。

松本：杉並区で「誰でも、いつでも、何度でも」PCR検査を受けられる、いわゆる「世田谷モデル」のような社会的検査の大幅な拡充を検討する考えがあるか。
保健福祉部長：PCR検査は検査時点での状況を示すに過ぎず、意味ある検査にするためには数日に一回程度の検査が必要となる。誰でもいつでも検査した場合、効率性が低い上に、財政負担が大きく、何よりも現行の検査体制を圧迫し、本当に検査が必要とされる方への迅速な検査が滞る可能性が高くなる。
松本：医療的な検査ではなく、安心感を得るための社会的な検査の拡充を「今」検討しているか。
保健福祉部長：現在の状況では、そうしたものを考えていない。

*4 PCRバスが停車する区内4施設で9月29日、30日に実施されました。

Topic 総務財政委員会(9月25日)

議案第88号 区立学校児童・生徒用タブレットPCの買入れについて

一人二台タブレットPC導入決定！杉並の教育環境はどう変わるのか

5月の一般質問で、杉並区も一人二台端末を整備すべきと主張し、その後7月の臨時議会に上程された補正予算において、「公立学校情報機器整備補助金」を活用した全額国費による一人二台端末整備が可決されました。年内には子ども達の手に届き始めます。手に入れたタブレットPCが子ども達の学びに大いに活用されるべく、今後このテーマには継続的に取り組んでいきます。

松本：児童・生徒用として19,000台購入することになったPCはどのような機種か。(右下へ続く)



▲Dynamook社のK50

情報システム維持管理

松本：杉並区職員のテレワーク実施にあたりシステム構築を行うにあたり、VDI、RDS、VPNなどがあると思うが、どの方式を採用するか。セキュリティ面の対策は。

情報システム担当課長：リモートデスクトップ方式(RD)を検討中。テレワーク用の専用端末から接続し、端末へのデータ保存を禁止、印刷不可設定、回線も閉域の専用回線を利用する。

保育相談・利用調整事務

松本：AIによる保育所入所選考を行う施策について、予算が成立した場合はさっそうと今年度の二次調整から活用するということだが、二次調整だけの利用でどの程度時間が削減できるのか。
保育課長：70時間の削減を想定している。

Topic 決算特別委員会

松本：妊産褥婦と新生児専用の避難スペースを液体ミルクの備蓄場所に確保し、その専用避難スペースに妊産褥婦・新生児に他の必要な資材や看護師・助産師などの協力を集約してはどうか。
防災課長：昨年度より震災救援所運営連絡会や災害時用配慮者対策連絡協議会で妊産褥・乳幼児の避難場所をテーマに掲げ意見をいただきながら検討に着手している。ご指摘の点も参考に、保健福祉部門と検討を進めていく。

松本：東京都特定不妊治療費助成の所得要件に世帯「所得」という文言があるが、世帯年収と世帯所得の違いは。世帯所得の905万円は世帯年収でどのくらいと考えられるのか。(右下へ続く)

一次調整も含めると、AIシステム導入で600時間もの削減になるようです!

声の区議会レポート

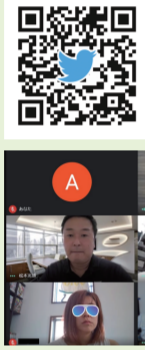
視覚障がい者の方からご要望をいただき、YouTubeに音声を投稿しました。スマートフォンのカメラ機能等でQRコードを読み込み、聞いていただけると幸いです。杉並区議会で発行している「区議会だより」も「声の区議会だより」を発行しています。



声の区議会だより

オンライン区政報告会

8月29日、オンライン区政報告会を開催しました。少人数でじっくり議論できました。私がいま知識のない分野について、現場の実態などを具体的に教えていただき、本当に勉強になりました。今後の議会活動に生かしてまいります。次回からは「オンラインタウンミーティング」と名前を改め、今後も継続的に開催していく予定です。Twitter or Facebookで開催のお知らせをいたしますので、ぜひご参加ください!



オンライン区政報告会

庶務課長：一般競争入札の結果、Dynamook社のK50という端末を選定した。2in1で10.1型タッチパネル機能付き、64GBフラッシュメモリ、イン&アウトカメラ、バッテリー駆動時間15時間以上、アクティブ静電ペン付き。
松本：カメラ付きということだが、ログイン時の生体認証は可能か。また自宅に無線環境がない児童向けにLTE端末も調達するか。

庶務課長：生体認証は導入せず(この機種ではできない)、IDとPWによる管理と情報モラル教育の徹底でセキュリティを担保する。LTEに対応するSIMカードスロットが本体に内蔵されている。

松本：欠席時の学校への連絡方法について、メール等インターネットを利用した連絡方法は認められていくか。一人二台タブレットPC導入のタイミングで、保護者用アカウントを教委が発行し、学校やPTAとの連絡に利用可能としてはどうか。
教育政策担当部長：多くの学校では連絡帳等の活用を基本としているが、コロナ禍では電話連絡も行っている。欠席の際の連絡方法や保護者用アカウントの発行については、今後検討する。



議案第89号 令和2年度杉並区一般会計補正予算(第7号)

多胎児家庭支援事業

松本：移動経費補助をどのように行うか確認する。*5
地域子育て支援担当課長：保健師等との面談の後、申請に基づいてタクシー共通乗車券の活用を想定している。

松本：面談は、担当保健師から対象世帯に面談の申し入れがあるのか、対象世帯から保健センター等にアプローチする形になるのか。
地域子育て支援担当課長：すこやか赤ちゃん訪問や乳幼児健診、多胎児家庭等の交流会等の機会を活用し面談ができるよう、担当する保健師等からも連絡させていただきたいと考えている。

松本：多胎児家庭支援サポーター事業について、利用者の自己負担額と精算方式をどのようにするか。
地域子育て支援担当課長：自己負担額は1時間500円として、直接事業者に支払う想定。子育て応援券も利用できるようにしたい。(左上へ続く)

*5 先行して導入されている自治体で、領収書を保管し年度末に精算という仕組みを採用しているところがあり、混雑とした子育てを行う中で事務負担が過大ではないかという問題意識によるもの。

ご意見・ご要望ハガキ

キリトリ線に沿って切り抜き、ご投函ください。

郵便はがき
1678790



差出有効期間
令和4年1月4日まで
(切手不要)

杉並区荻窪 4・21・8・301
松本みつひろ事務所 行



*本総務財政委員会は毎月12日に追加で開催され、高齢者・インフルエンザ予防接種の無償化対応について、杉並区立休日急病診療所におけるPCR検査バスの活用についてを審議しました。